

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市泉障害者福祉センター		
2 指定管理者	社会福祉法人 仙台市社会福祉協議会		
3 指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日		
4 施設の利用状況	《利用者数》 ・令和3年度 1,954人（前年度比 82.9%） ・令和2年度 2,358人（前年度比 52.0%） ・令和元年度 4,535人（前年度比 91.3%）		
	《事業》 ○貸館事業：障害者の自主的な活動及び障害者の福祉に関する市民の自発的活動のための施設の提供その他の援助 ○障害者の福祉に関する講習会の開催その他福祉に関する啓発活動		
5 収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 744千円（837千円） ・ その他市が負担した費用 440千円（1,060千円） 《収入》 ・ 使用料収入 0千円（0千円） ・ その他収入 0千円（0千円）		（ ）は前年度決算額
6 利用者の声	《実施状況》 利用団体アンケート・主催講座参加者アンケート・利用報告書の御意見欄等を通し改善に取り組み、その結果を館内の掲示板に公開している。事業運営については、挨拶、応対・説明、身だしなみ、施設の清潔さ等の観点でアンケート調査を実施しており、回答者の半数以上が「満足以上」と回答しており、利用者からは概ね高い評価を受けている。		

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	協定書及び仕様書に則り適切な管理運営がなされていると評価できる。設置目的や運営の基本方針を館内に掲示し、職員の定期的な打合せにて目的・方針の共有を図っている。同一建物内にある地区社協の支援センターと連携しながら、各種講座の開催やボランティア活動の支援等を通じて障害者福祉の普及に向けた活動を行なっている。	24/24
II 施設の運営管理体制	計画に基づいた人員配置のもと適切な運営がなされており、経理についても定期的な点検が行われている。災害時に備え周辺施設と合同で訓練が実施され、有事の際の連携体制がとられている。パソコンのセキュリティ用ワイヤーでの固定や文書の施錠による書庫管理を徹底する等、管理体制の強化を図っている。	24/24
III 施設・設備の維持管理	同一建物内にある社会福祉センターと連携し、点検簿を用いて定期的な建物・設備の確認を行っている。館内で節電や節水に努めるとともに、周辺施設と連携しながら、緑化活動も積極的に取り組んでいる。	24/24
IV サービスの質の向上	接遇研修を通じてマナー向上に努めており、パンフレットやセンターだよりの定期的な発行、社会福祉センターと連携し利用団体への相談会の開催を通じて、利用しやすいセンターとなるよう取り組んでいる。 日々のミーティングで情報共有・情報交換を図り、業務手順書の整備と見直しが行われ全職員が一貫した認識を共有できる体制を整えている。	28/28
V 施設固有の基準	音声案内を設置する等、障害者も利用しやすくなるよう施設の維持管理を行っている。 ボランティアを対象とした講習会や、障害者のみに限定しない手話教室等を開催し、終了後にはアンケートを実施し、今後の講習会につなげる工夫がなされている。	9/9

三 評価総括

《指定管理者（社会福祉法人仙台市社会福祉協議会）による自己評価》
<p>仙台市泉障害者福祉センターでは令和3年度、以下の3点を重点事業として取り組んだ。</p> <p>1つ目の「在宅障害者の利用率の向上」では、施設の貸館や主催事業を通して、地域の障害者や福祉団体の活動を支援した。また施設内の無線LANを活用してもらい、利用者の利便性の向上及び情報発信の機会を提供した。</p> <p>2つ目の「障害者を支援する人材の育成」では、障害者福祉に関わるボランティア活動の充実を図るため、併設の仙台市泉社会福祉センターと共催の手話講座や教室修了者への情報発信等を通して、サークル活動の支援を行い、行事や活動時のボランティアの受け入れなどに努めた。コロナ禍により行事の中止やボランティアの受け入れが難しい場合には、電話連絡で登録ボランティアへ近況報告・確認等を行いセンターとのつながりが切れないように努めた。また社協内のネットワーク強化として、本会の障害者施設合同での研修会を共催し、日常業務でも連携できるような体制づくりを行った。</p> <p>3つ目の「地域の障害者施設や事業所との連携強化」では、地域の関係団体との情報共有や連携による包括的な支援体制の構築を目指すため、泉ぬくもりの里内の施設と職種毎の会議を通し、情報共有を図り環境美化活動を共同で行った。また仙台市社会福祉協議会泉区事務所のCSWと連携し、地区社協のサロン等へレクリエーション器具の貸出を行い、センターのPRに努めた。実績として、地区社協サロンへの貸出9件、生活介護事業所への貸出1件があった。また泉区障害者自立支援協議会の全体会議1回、運営会議12回、実務者ネットワーク会議5回、連絡会議11回の各会議体に職員が参加した。加えて、災害時に福祉避難所を速やかに開設できるよう、併設の泉社会福祉センターと福祉避難所の設置訓練を行った。その他、職員の人材育成として、本会内部研修3回、本会主催研修1回に参加、またセンター内研修を10回開催した。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>協定書及び仕様書に則り適切な管理運営がなされていると評価できる。</p> <p>手話講座等の開催等を通じて障害福祉に関わる人材育成に積極的に取り組んでいる点や、災害時に備えて福祉避難所の開設に向け地域住民や周辺施設と連携した取り組みを進めている点、また社会福祉協議会のネットワークを活かし近隣の施設・関係者と連携し講座の企画や合同研修の実施に努めるなど、地域の障害福祉の拠点施設としての役割を果たしていると高く評価できる。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：健康福祉局障害者福祉部障害者支援課